

2021年4月1日

2021年度予算について

青山学院財務部

青山学院の2021年度（以下、当年度）資金収支予算及び事業活動収支予算は、予算会議の議を経て、収益事業部予算とともに、本年3月25日開催の評議員会、引き続き開催の理事会で承認されました。

当年度の予算編成に先だち、2020年7月1日に理事長名で「青山学院2021年度予算編成方針」を各設置学校及び法人各部署に発信しました。具体的には、「①中長期的なビジョンによる予算編成、②教育活動収入予算の精度、③外部資金の獲得、④ご寄付の受入れ、⑤事業計画上の優先順位を考えた支出計画とコスト削減努力」などを予算編成の留意項目とし、経常収支差額の確保に向けた目標を示しています。

また、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態に鑑み、2020年度計画のうち新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった案件の予算再計上を認めるなどの施策を講じています。

当年度予算の収入面では、学生生徒等納付金について、女子短期大学の2019年度新生募集停止に伴う学生数減少による減収があるものの、大学のコミュニティ人間科学部の学年進行、大学をはじめ各設置学校における学費改定効果などにより増収を見込んでいます。

一方支出面では、建築工事が本格的に開始される大学新図書館棟の計画、「AOYAMA VISION」の実現に向けた施策等を予算に計上いたしました。また各設置学校、法人各部署では、予算の内容全体を見直し、「選択と集中」を意識して、取り組むべき施策のための予算を織り込んでおります。

当年度実施予定の主な支出項目としては、

- ① 教育のデジタル化への対応費用
- ② 大学新図書館棟（仮称）建築計画費用（既存校舎解体撤去、建築工事等）
- ③ 幼稚園園舎建替計画費用（設計等）
- ④ 「AOYAMA VISION」の実現に向けた施策のための費用
- ⑤ 非構造部材の耐震化費用（大規模天井改修、校舎外壁改修）

等を計上しております。

以上